

「SF 思考」による未来の情報システム部門の姿 ・ 戦略的価値の研究 (クラス 2) ～多様な可能性を描くための方法論の提案～

アブストラクト:

現代社会における企業の戦略立案は、急速な環境変化や高まる不確実性により、従来のフォアキャスト型アプローチでは限界が指摘されている。未来のあるべき姿を描き、そこから逆算するバックキャスト手法が重要視される中、SF 思考が戦略策定の新たな手法として注目されている。SF 思考は、SF (サイエンス フィクション) の想像力を活用し、従来の枠組みにとらわれず未来の可能性を探るアプローチである。しかし、SF 思考で未来を描くプロセス (以下、SF プロトタイピング) には、スキルや多くの時間が必要になるため業務利用は現状進んでいない。特に情報システム部門は事業企画部門と異なり、戦略的価値を描くための実践方法がまだ確立されていない。本研究では、従来の SF プロトタイピング手法であるワークショップ形式が抱える業務利用上の課題であった時間と専門スキルを解決するため、短期間かつ専門的トレーニング不要なセルフタスク形式の「SF 思考体験プログラム」を開発し、その有効性を検証した。具体的には、生成 AI を活用した SF 小説作成や、RPG (ロールプレイングゲーム) 風の体験要素を組み込み、ユーザーのモチベーション維持を図った。被験者に対するアンケート調査を実施した結果、本プログラムは短時間での実施が可能であり、情報システム部門における未来洞察の手法として有効であることが確認された。本研究の成果により、企業内での SF 思考の活用が促進され、情報システム部門の戦略的価値を創出する新たな手法確立に寄与した。今後は、企業意思決定プロセスと統合し、SF 思考を活用した具体的な戦略策定手法の開発を進めることが求められる。

キーワード:

SF 思考、情報システム部門、戦略策定、SF プロトタイピング、未来洞察